

6. 確実な避難を達成するための各種施策の推進

(幹事機関：静岡県)

●東海四県三市 津波対策に係る勉強会

平成24年度検討課題

「津波避難に関する施策」

- ・災害時要援護者の避難
- ・適切な情報提供
- ・災害時の心理について
- ・自動車での避難
- ・港内の従業者の避難

- ・避難対応を行う市町村にアンケート調査を平成24年8月に実施

調査対象：東海四県の沿岸市町村（58市町村）

最大クラスの津波の河川遡上により浸水の可能性がある内陸市町（19市町村）
計 77市町村

→市町村が抱える津波からの避難に関する問題点を抽出

- ・市町村のハード対策について調査

●南海トラフ巨大地震の津波高さ・浸水域及び被害想定を国が公表(8月29日)

愛知県内

- ・津波高さ（市町村ごとの最大）：4m～22m
- ・津波到達時間（+1m）：9分～102分
- ・津波による死者数（最大）：10,400人
（死者数は、堤防・水門が機能不全の場合）

三重県内

- ・津波高さ（市町村ごとの最大）：4m～27m
- ・津波到達時間（+1m）：5分～85分
- ・津波による死者数（最大）：33,800人
（死者数は、堤防・水門が機能不全の場合）

静岡県内

- ・津波高さ（市町村ごとの最大）：5m～33m
- ・津波到達時間（+1m）：2分～24分
- ・津波による死者数（最大）：100,300人
（死者数は、堤防・水門が機能不全の場合）

しかし、早期避難率高、効果的な呼びかけ、津波避難ビルの活用など → 津波による死者数 最大約8割減

25km

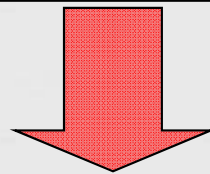
50km

100km

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000、50000、25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平24情複、第356号）

●アンケートの調査結果(ソフト的な課題)

津波避難に関する施策	問題
災害時要援護者の避難	要援護者名簿の作成が困難、避難支援者の確保等
適切な情報提供	住民、観光客への情報伝達方法等
災害時の心理について	防災情報の伝達、防災知識の不足等
自動車での避難	自動車利用時の避難ルール等
港内の従業者の避難	従業者への情報伝達方法、避難地の用地確保等

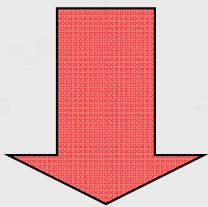
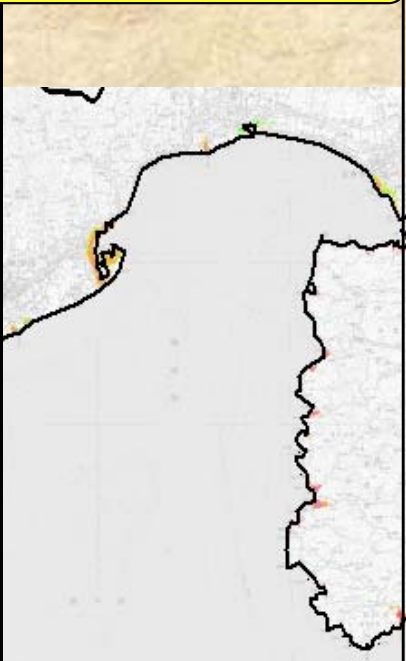


<対策等>

- ・避難意識を高める啓発を実施していく必要がある
- ・アンケートにより明らかになった課題について25年度も引き続き検討を実施する

●アンケートの調査結果（ハード対策）

津波避難に関する施設等の整備件数 (平成24年8月1日現在)	静岡県	愛知県	三重県	計
海拔表示標識、避難標識等の整備	10,909	4,534	4,344	19,798
津波避難ビルの指定	1,175	819	214	2,208
津波避難タワーの整備	14	—	7	21
避難マウントや高台の整備	9	—	233	242
避難路や避難階段の整備	189	1	407	597
公共施設への津波避難階段等の整備	43	2	18	63



・調査結果を各県にフィードバックして各県の施策に反映させる